

家庭学習の手引き【中学生編】

1 家庭学習の目標

主体的な学習の定着化

基礎学力の定着・活用型学力の育成

自己マネジメント力の育成

2 家庭学習3カ条

 自分なりの学び方を探し、身に付け、自ら進んで取り組みましょう。【主体的な学習の定着化】

授業内容の要点を整理し、問題演習することで学力 up につなげましょう。

 「調べ」「考え」「書く」を中心とした活用型宿題に取り組み、思考・判断・表現力を高めましょう。

【基礎学力の定着・活用型学力の育成】

『授業』⇒『復習・予習』⇒『授業』⇒『復習・予習』⇒ ……

 自分の学習と生活の実態を自覚し、目標を設定したり、進捗状況を確認したりして、自己学習を改善しましょう。

【自己マネジメント力の育成】

3 家庭学習の取り組みについて

 学習環境の整備のために…スマホやマンガなど、気の散るようなものは近くに置かないようにしましょう。

 家庭学習のとらえ方… 『家庭学習』 = 『宿題』 + 『自主学习』 + 『5分間復習 + 1分間予習』

- ・まず、『宿題』に取り組みましょう。
- ・次に『自主学习』に取り組みましょう。
- ・最後に、『5分間復習』 + 『1分間予習』に取り組みましょう。

向陽中では、単元テストに向けた主体的な学習を進めています。スケジュールに基づいて計画的に取り組みましょう。

 - (1) 自主学习について

自主学习ノートを開きます。教科書やワークブックの問題、特に、分からなかった問題にチャレンジしましょう。学習の要点を整理し、理解を深めることが大切です。

 - (2) 5分間復習 + 1分間予習について

5分間復習は教科書を開き、今日の授業の学習を振り返りながら、正しい知識と考え方を確かめます。

4 家庭学習の時間の目安について

	平日		休日	
中学1・2年生	1.5時間～		2時間～	
中学3年生	部活中	部活終了	部活中	部活終了
	1.5時間～	3時間～	2時間～	4時間～

※定期テスト前などは、このとおりではありません。



5 5分間復習と1分間予習の取り組みについて

5分間復習	1分間予習
(1) 今日学習したところの教科書のページを開きましょう。	(1) 教科書を開き、次時に学習する部分を読みましょう。
(2) 学習したところの教科書を音読して、内容を振り返りましょう。	(2) 新しい学習は何か、問いは何なのかを考えましょう。
(3) 学習の要点やまとめに線を引きながら、授業のときの自分の考えを見直しましょう。	(3) 大切な言葉やまとめの文には、線を引きましょう。

○自主学习例Ⅰ(数学)【問題演習を行うとき】

※ワークのページ数を記入

左から順番に①学習した日付、②教科、③単元名や内容を書く。

ワークのページ数を記入

間違った問題は、正しい答えだけでなく、「どうしてそうなるのか」を解説を見て確認する。

☆ 取り組みのポイント

- できるだけ多くの問題を解くために、問題文は書かない。なるべく多くの問題を解くことを心がける。
- 間違っただけ覚えてしまわないように、必ず丸付けをする。
- 間違えた問題や分からなかった問題は、途中の考え方を解説で確認し、正しい考え方や解き方を身に付ける。そして、同じ間違いをしないようにする。

○自主学习例Ⅱ(数学)【授業の振り返りをするとき】

※教科書のページ数を記入

左から順番に①学習した日付、②教科、③単元名や内容を書く。

教科書のページ数を記入

授業で「間違ったところ」「分からなかったところ」を書き出し、教科書を使って振り返る。間違った理由や正しい考え方を（気づき）に記入する。

☆ 取り組みのポイント

- 授業のノート、教科書を見返しながら、取り組む。
- 考え直しても分からない内容には印をつけておき、先生や友達に聞いて解決する。
- 分かったつもりにならず、疑問があれば、書いて残しておく。